

る。従つて陸軍としては内務當局に對し、熱心に此の完成の促進を希望して居る次第であつて従つて、今日に於ても爲し得る限り此の作業に對し便宜を圖つて居る次第である。

内田氏は事業完成の曉には、山口、福岡の兩縣及關門兩都に於ても、之に關聯して施設をなす工事や事業も多數であらうし、工場地帯の設置、地方民の住居、營業所の關係と云ふ風に直接に利害の影響が多である折柄、此の政府の重大なる決心を聞いて大なる光明を得た。ドウカ事業の

完成の一日も速かならむことに付て、兩相の御盡力を切望するとして、質問を打切つた。

### 結　　び

以上に依つて銃後國民の聽かんとする、路政問題の大綱を窺ひ得た。我等は堤、田中、内田三氏の質問が、國內の輿論を代表したものととして、示教されること多大たるものがあると共に深甚の謝意を表する次第である。

## 關　門　放　送　(三)

淺　　香　　生

### 銃後陣の強調

國民精神總動員運動は、單に精神的のものでもなく形式的のものでもない。要は時局多難時に於ける國民全體の眞

の心構へとその實行とである。

縣廳の或る課では上司の命を受け、縣下の町村を分擔行脚して、其の理事者や名譽職・何々委員等を招集して大聲疾呼、銃後の總動員は縣民の自覺に俟つ。なんて云はずも

がなかの感が深い。が少くとも夫れ程大童になつて、課員總出で事變時に於ける國家的大事業達成に努力して居る半面に於て、風子自身が果して自覺して居るか否かと危惧する節があるのである。即ち等しく知事の部下である他の課に於て、方今頻りに豫算縮少、即剩員整理といふ漫然たる平和心に馴れて、愛情も無ければ、抱擁力も無いかの如き態度を以て、盛んに吏員を誡首するか、或は殆んど放逐に等しい方法を取つて居る。

功成り名遂げての勇退とか、或は別に信念や理想を持つての措置ならばいざ知らず、滅私奉公、一生を縣民の福祉に捧げんと、大なる理想と、熱意とを藏して居る純眞な青年層に對し、許すべからざる手段に依つて、善良なる部下の動搖を自ら醸成して居る。

これでは何が銃後の緊張か、何が協力一致ぞよ、御手許拜見と云ひ度くなるのである。非常時を口にして、縣民に銃後陣の護りを説く前に、先づ以て縣廳員自らの内部強化を強調するに非ずんば、遂には釋迦に説法の嘲笑を免かれ

ないのみならず、世道人心を誤らしむるものとして、其の徳義上の罪は末代に胎さるべきであらうし、嚴然たる國策に反逆したるものとして、また全國民の名譽の爲相當制裁の緊急性が多分にあるのではあるまいか。靜かに再四三考して戴きたい。

## 鋪裝道路

全國の道路少くとも、國道と主要府縣道とは一瞬の遲疑もなく、早急に鋪裝化せねばならぬことは最早議論の餘地がない。

然るに事の實際と、這般の狀勢は夫れ程簡單に取運び得るものでないことも亦充分に察しられる。従つて努めて砂利道としての維持に留意して、交通の圓滑と迅速とを期することは道路管理者に課せられた重要な義務の一つであり、此の義務を最大濃度に勵行するが爲に、豊富なる經驗と技術的確信とを傾注することも亦重大なる責務である。併しながら之が爲に、萬一にも砂利道の維持のみに専念

して能事終はれりとし、假初めにも國民をして鋪裝道路の効果を、閑却せしむるが如き思想を發芽せしむる様なことがあつてはならない。否寧ろ道路管理者としては一般國民をして、鋪裝道路が砂利道に比し獨り交通上の見地からのみでなく、經濟的効果から、延ひては産業振興の基幹たるべきことゝ、國力の充實に資することを熟知せしめ、其の普及發展を庶幾するが如くに指導することこそ、現下に於ける活潑な極度の緊要事であると云はねばならぬ。

嘗て某地に於ては勉めて砂利道の維持に研鑽を怠らなかつた。爲に、砂利道としては誠に結構な申分のないことに違ひなかつたが、夫れが爲、擔當技術員も縣民も押し並べて、道路は塵埃の立つのも無理はないものと云ふ悲しい諦めから、更に埃りの立たぬ様では道路でない、と云ふ程に觀念上墮落したかの如くに感じられた。その結果は鋪裝道路の普及は、今日に於ては何人も殆んど常識的必須事と稱せられて居るに拘はらず、衰れにも全國から敗殘の骨を留むるに過ぎない様になつてしまつた。其の掲げんは鋪裝

道路の普及率が歩合にも上がらぬ位に慘めな奈落に逡巡して居る。些細なことの様だが爲政者として充分戒心すべきことの一つであらう。

## 廢道處分

道路を新設又は改築を爲すことに因つて、從來の宅地とか耕作地が潰地となり、同時にまた其の分量の多寡に拘はらず、殆んど例外なしに廢道敷を隨伴する。そして潰地が多ければ夫れだけ、廢道敷地が多い譯である。

普通に道路の改良と云ふときは、新道路敷地の取得と次に來るべき道路の造成とを一體としたものを稱するのであるが、私は更に進んで管理者たりし者の爲すべき廢道敷の處分をも廣義に於ける道路改良の手段であると觀念したいのである。換言すれば、道路の新設や改築と云ふ物的施設を爲すことゝ、廢道敷の處分を爲すと云ふ行政事務の執行とは不可分であり、寧ろ同時に廢道處分を修了するに非ざれば完全なる道路の改良の達成ではないと云ふ氣風に考へ

たいのである。

然るに、我々が偶々地方を視察した折に、御案内の方は「アレが舊道で、アンナに曲折して居つたのを此の様に幅員を擴張して採線した。丁度私が本縣に赴任した直後に行つたのであるから、約何年にもなる」と、永年放置して居る廢道敷の仕末なんかには眼も呉れないで、頻りに新舊對象を指さしながら、我こそは如何にも古くから道路の改良に一段と覺醒して、率先着手したかの如くに鼻高々と自慢遊ばされる。至極御尤な次第であるが、屈曲した道路を直線にし、狹隘部を擴張することは當局者としての當然の義務であり、別段手柄でもなければ感心すべきことでもない。要は其のものが、如何に經濟的に且つ又規格に正しく合致して居るかに依つて、其の人の手腕を試練され、職務の忠實性を斟酌するだけのことである。豫算があるならば、夫れを眞面目に執行することは當局者の當然の服務であつて、賞めねばならぬ筋合ではなからう。

我等は建設の苦心よりも其の後の平凡な事務整理をこそ

道路管理者として大切な事柄であると信ずるものである。

廢道を處分することに依つて、直ちに新道路敷地としての潰地となつた土地の幾分を回復し、夫れだけ公共團體の收入を増加することとなり、假令一ヶ所では些少のもので、全縣又は全國では相當な價值を擧産し得るのであつて、また無價値の場合と雖も單に一個の事務的處理としても懈怠に閑暇すべきではない。然るに數年前の舊道が、當事者の怠慢から其の儘で野曝になつて居ることは、立派な新道路の構造に敬意を表するよりも、寧ろ片腹痛いと思ふ度合の方が遙かに優つて居るのである。

斯様に見るときは、ドウシテモ新道路の完成と、廢道敷の處分とは一蓮托生とは、行かなくても、セメテ道路改良の善後處置として、緊急に取扱つて貰ひたいと、泌みじみ惟ふ。

### 貨物自動車運轉手

昭和八年内務省令第二十三號自動車取締令の規定に依る

ときは、乗用自動車の速力は毎時五十軒まで許されて居り、貨物自動車は三十五軒に制限されて居るのを普通とするところに解釋して居る。

然るに吾々が體驗するところに依ると、前方に在る貨物自動車は、如何に後から高音で警笛を鳴らしても避讓して呉れないのが屢々ある。

三十五軒と五十軒では、乗用車の方が前進せねばならぬのであるから、これはドウしても貨物自動車の方が不都合千萬である。そして夫れを詰ると、全然聞えませんでしたと平氣で逃口上を張る。これは聽いて居つて聞かないといふことであれば大なる不徳漢であり、況や乗用車に追越されることに對する不満から規定以上の速力を出して居るものとせば、もつての外である。これに付ては罰則の適用といふこともあるのであるが、それよりも更に遡つて取締當局に於ては、今少しく細心に貨物自動車運轉手の動作を觀察するの要があるのである。即ち其の資格試験にも、學科と車輛操作の外、人物及性格等にも重點を置き嚴正なる選

擇を行ふの必要があるのではあるまいか。また就業の免許を與へた者に對しては毎年行事的に爲される無事故を誇る表彰よりも進んで交通道德の訓練をも爲すの要もあらう。

また云ふが如く果して實際に於て聽えないとすれば、これは其の音響器の設備の技工に付いて再検討せねばならぬ尤も此の場合に於ても、鋪装道路と砂利道とは、其の音響の度合も比較にならぬ程の相違があるのであるから、之等のことも併せて考察するの要がある。が、しかし恐らくは、大抵の場合は警笛の不備といふよりも、前者に該當する場合の方が多いのではあるまいか。常識上高音の警笛が前者に響かないといふことは判斷し難いからである。

私は假定は好まぬのであるが、三里も五里も、貨物自動車に追隨して居つたのでは、火急の用件で汽車なり汽船なりに向ふとき、或は患者を病院へ運ぶとき、更に亦應召軍人の入營のとき等を思はば、其のときの焦慮と無念とは恐らく吾々が紙上で想像以上の苦惱であるに違ひない。縣の保安課當局の深甚なる指導の發露を望んで止まない。